

【セイコーエプソン(株) 日野事業所】 環境への取組

〒191-8501 日野市日野 421-8 (☎042-586-6226)

URL:<https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/>

「省・小・精」から生み出す価値で人と地球を豊かに彩る

2022年9月、エプソンはパーパスを制定しました。エプソンが抱き続けてきたもの、それは「省・小・精」の技術で、人々の暮らしを豊かにしたいという想い、そして、自然の豊かさを守り、未来へつないでいきたいという強い想いです。大きいこと、量が多いことだけが豊かさではない。省くこと、小さくすること、精緻さを突き詰めること、これこそが、自然環境にやさしく、人々のところを豊かにできるものだと思っています。「省・小・精」から生み出す、より大きな価値で、人と地球を豊かに彩っていきたい。私たちは、そんな想いを実現していきます。

エプソンでは、『環境ビジョン 2050』として、2050年に「カーボンマイナス」と「地下資源*1 消費ゼロ」を達成し、持続可能でこころ豊かな社会を実現することを目指しています。

このありたい姿の実現のため、長期ビジョン『Epson25 Renewed』における「環境」カテゴリーでは、“脱炭素”と“資源循環”に取り組むとともに、環境負荷低減を実現する商品・サービスの提供、環境技術の開発を推進しています。

1. 脱炭素

再生可能エネルギー活用／設備の省エネ／温室効果ガス除去／脱炭素ロジスティクスなど

2. 資源循環

資源の有効活用:小型軽量化、再生材活用／生産ロス極小化／リファービッシュ、リユースなど

3. お客様のもとでの環境負荷低減

低消費電力化／長寿命化／消耗品・交換部品の削減／印刷のデジタル化など

4. 環境技術開発

ドライファイバーテクノロジー応用／天然由来素材(脱プラ)／CO2 吸収技術など

資源循環の取組では、2023年5月9日より、エプソンダイレクト(株)にて、PCのリファービッシュ品(再生品)の販売を開始しました。

*1 原油、金属などの枯渇性資源

【日野事業所の活動について】

当事業所はセイコーエプソンとグループ会社で構成されており、環境活動は共通課題の「省エネ」、「省資源・再資源化」、「地域社会貢献」を3本柱として、連携・協力して推進しています。

1. 省エネ活動

事業所内の空調機器について、2012 年度より省エネ機器への更新を進めています。また照明はLED 化を行い、これらの設備の省エネ化により、事業所の最大電力について約 100kW (冷蔵庫で約 500 台分相当)の削減を達成しました。

2. 省資源・再資源化

2022 年度に事業所から排出した廃棄物は、全体の 38%が紙類、10%が金属くず、39%がプラスチックで、そのほとんどを再資源化しています。

またオフィスでは、インクジェットプリンター複合機の導入の他、乾式オフィス製紙機『ペーパーラボ』で製造した再生紙の利用により、環境負荷の低減を図っています。

<インクジェットプリンター複合機の特徴> ※カラーレーザー方式との比較

- ① 低消費電力(消費電力量を約 80%削減)
- ② 消耗品が少ない(消耗品の排出量が地球温暖化負荷(CO2 換算)で約 92%削減)

3. 地域貢献活動

春・秋の日野市内一斉清掃への参加、エコキャップ活動等を実施。2012 年から実施している当社製使用済みインクカートリッジの回収では、2022 年度は 5,195 ポイントをベルマーク教育助成財団経由で寄贈。資源の有効活用と廃棄物の削減により地球環境保全を図りながら、教育支援という社会貢献活動への参画を実現しています。



2022.11.27 事業所周辺の清掃活動を実施しました